

#せかい部 × SDGs 探究

高校生ベストレポーターによる

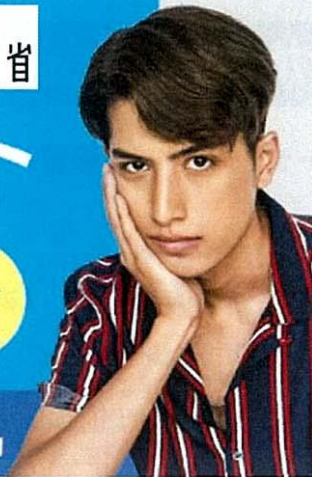
# 成果報告イベント with kemio

1月24日(日) 14:00-15:00 @ZOOM

無料  
予約制



文部科学省



SDGs探究の  
ベストレポーターに  
選ばれた5名が  
kemioさんに  
学びの成果を  
シェアします。

Photo by CALEE & GLADYS

高校生300人 参加者募集! 1/15(金)メ切

高校生が身近な社会課題をグローバルに学ぶことを応援する「#せかい部×SDGs探究プロジェクト」。

全国の高校生171名のレポーターがSDGsに関連する5つのテーマ（貧困をなくそう、ジェンダー平等を実現しよう、持続可能なまちづくり、気候変動に対策を、生物多様性を守ろう）について28の探究プログラムを通じて学び、発信してきました。

5つのテーマごと特に優れたレポート活動をした【ベストレポーター(詳細は次ページ参照)】が、来る1月24日(日)、学びの成果を、世界を舞台に活躍するクリエイターのkemioさんに語るオンライン成果報告イベントを開催。高校生、先生の参加者を300名(予定)大募集します。

イベントでは、高校生とkemioさんがオンラインで繋がり、SDGsについて語るほか、イベント参加者からいただいた質問に答えたり、高校生への応援メッセージをいただきます。ぜひお気軽に御参加ください。

## イベント概要

日時 1/24 (日) 14:00~15:00 @zoom  
13:30~13:55 入室タイム

### CONTENTS

14時~14時5分: ご挨拶

14時5分~55分: ベストレポーターによる  
学びの成果シェア&トーク

発表後、kemioさんからの質問や感想をトーク

※参加の皆さんからの質問(チャットコメント)を取り上げる可能性も!

14時55分~15時 クロージングトーク・記念撮影

対象 高校生300名

中学・高校の教職員の方の見学も可能

#せかい部の公式SNSフォローをして参加してね!

主催

文部科学省「トビタテ!留学JAPAN」 #せかい部

詳細 & 参加  
エントリーは



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



貧困をなくそう



ジェンダー平等を  
実現しよう



住み続けられる  
まちづくり



気候変動に対策を



生物多様性を守ろう

海外に興味のある  
高校生、あつまれ!

高校生の海外体験のナマの声、続々掲載中!

高校生による、高校生のためのソーシャル部活動

#せかい部

## #せかい部とは?

海外に興味のある高校生による、SNSやイベントを通じて交流するソーシャル部活動。公式SNS(Twitter・Instagram)をフォローすることだけが部員の条件です。文部科学省の留学応援プロジェクト「トビタテ!留学JAPAN」が運営しています。



## 「#せかい部×SDGs探究」ベストレポーター



ベストレポーターの書いた最終レポート記事（note）紹介など、詳細は



貧困をなくそう

**川西満葉さん**〔福山暁の星女子中学・高等学校5年/広島県〕

川西さんは期間中、Instagram、Twitter、Facebookなど複数のSNSを駆使し、主に子どもの貧困問題の教育格差の連鎖に着目し、積極的な発信活動をすると共に、学校で複数回に渡り、この問題についてみんなが関心を持つことの大切さを話す機会をつくりました。また、高校生のじぶんたちにもできることとして、子どもの未来応援基金に連動してすすめられている古本の回収を校内でできるポストの設置を開始するなど具体的なアクションにおけるリーダーシップを示し、「自分ごと」の輪を広げています。



ジェンダー平等の実現

**森本陽介さん**〔京都府立山城高等学校2年/京都府〕

森本さんは、「ジェンダー平等を実現しよう」はSDGsの中でも最も難しい課題ととらえ、Instagramからの発信を中心に、写真の選び方だけでなく、PowerPointを使って画像を用意したり、読み手がみたくなる投稿を常に意識しながらオンラインプログラムで得た気づきや学びを積極的に発信しました。各プログラムへの真摯な取り組みや、最終レポートでは匿名で50件ものアンケート調査を実施し、そこで解ったことをこの間に得たさまざまな知見と共に、等身大の飾らない言葉と「伝える」視点でしっかりまとめ、その完成度も光ったことが受賞に繋がりました。



持続可能なまちづくり

**松岡明希さん**〔福岡県立嘉穂高等学校1年/福岡県〕

松岡さんは期間中に実施した28回のオンラインプログラムに全回参加した数少ないひとりです。中学生の頃から新聞部で活躍している彼は、今回のプロジェクトを通じ、テーマを超えて、多くの高校生レポーターたちと積極的に交流し、いままでには使ったことなかった種類のSNSにも挑戦、幅広い視点からの発信の機会を最大化しました。のべ20人とインスタライブも開催し、意見交換やオンラインプログラムで得た気づきを共有する姿は他の参加者にも良い影響を与えました。このプロジェクトを通じて出会ったナビゲーターからの言葉を聞いて「人生が変わった」とも話す彼は次なる挑戦に向けて歩みをさらに進めています。



気候変動に対策を

**吉野夏乃葉さん**〔大阪市立水都国際高等学校1年/大阪府〕

吉野さんは自身の姿をアバターにし、気候変動を中心に、SDGsを同年代の人達が「自分ごと化」しやすい工夫を凝らした発信を、さまざまな種類のSNSを通して積極的に続けました。16人もの高校生レポーターとインスタライブを実施、自身の学校でもみんなが気候変動はもとよりプラスチック削減の具体的なアクションをまずは「楽しく」やってみようイベント開催も主導しています。「プレゼン力では誰にも負けません」という力強いコメントにも今後の活躍が大いに期待できる高校生レポーターです。



生物多様性を守ろう

**中山公太郎さん**〔芝高等学校1年/東京都〕

中山さんは、このプロジェクト開催中は毎日Twitterを発信することを目標に、SDGsを意識した生活を送りました。オンラインプログラムへの参加のみならず、地域のイベントや学校の友人との輪の中で、社会としっかり向き合いながら自分たちができることを考え、具体的なアクションに繋げるリーダーシップが光りました。ワンダーフォーゲル部の部長としての活動をベースに、独自性ある切り口で纏めあげ、読み手がその世界観にひきこまれてしまうような最終レポートも秀逸でした。